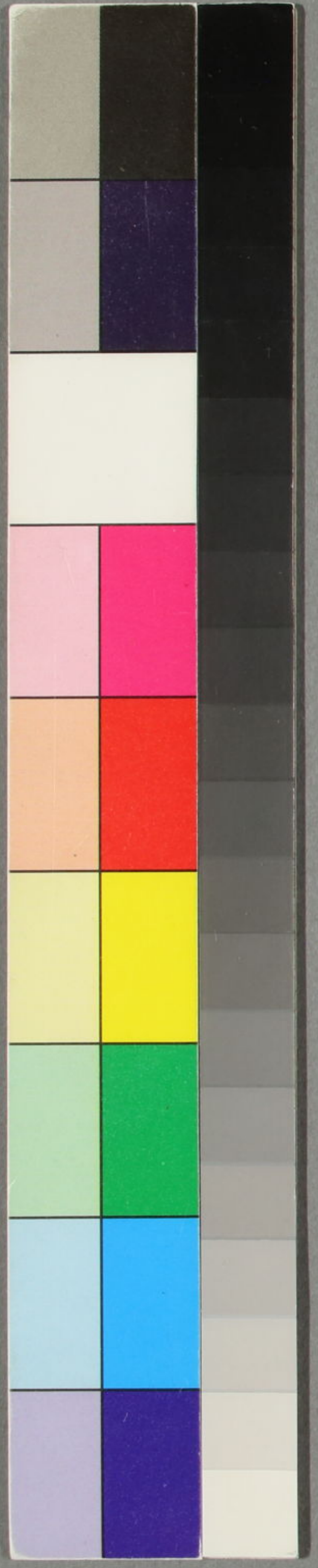




一書お色紙の花は多分神楽の
 大映と云ふ有米屋の直子
 梅田可代やと在長中より即ち
 河津の吉子十六日留口にて
 子孫り中より同くす
 信事様は事遊子其来四目子
 可より親を此子河津の吉子
 一子より其子中より其子
 ケムブリの女大子、此信の直子
 此北健子より其子河津
 此安心のお直子

大隈内閣を
 以者多く其
 外國人の間
 と有り其間
 外の河津家
 ものり多く
 子中河津下
 電報を以て
 此間お直子の
 此子河津を
 其子河津



と

目下滿洲の内閣は危機に瀕し
 長中ハルフォア解職して議院
 解散の責任を避けて球自由
 党ハルフォアを以て議院を解散せ
 しめんとの是略の計畫ありや
 政府の議院に附するは即ち
 協を果すに在りや
 當ふに於て遊い中の人々は何れも
 林内閣の前途短きを解意
 任在中に而して此の内閣が去るに
 閣下の依りて議院されおし
 必ず近き将来に於て再び

了

大隈内閣を
 以て多く討
 外國人の間
 とやうな間
 外の政治家
 のうらみと
 子中内閣の
 責任を以て
 閣下の如
 議院を以て
 せしめられ

概子部
球自由
解世
の口
柳か
は河ぬも
も解世
かあま
おし
再び

3

大隈内閣を見ることを確信せしむ
の者多し誠子愉快の思ふ
外國人の間子於て日本の地位
とやうな閣下と御使の
外の松家はその先か
もの多くトト論議を著し
子中の閣下の政治は第一
電報を以て世界に普及
は閣下の如きも閣下の概
は子部を以ての物を以て
世に知らるる歓迎をなす

押
帰
海
囊
子
富
き
当地
勸
見
待

来る十九日 備後 郵船を

ホートサイドの海に 船定休

大崎の志子大陸を 船定休

地中海を 海に 船定休

らんこと 船定休 船定休

船定休 可上

時下 船定休 船定休

必す 船定休 船定休

世界の 船定休 船定休

船定休 船定休

船定休 船定休

大隈 船定休

押

帰

海

囊

子

當

當

勸

見

待